

令和8年度 一般選抜後期日程 人間健康科学部 看護学科 小論文
出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

課題文は、社会のデジタル化に伴い、オンライン習慣の危険性について述べているものである。日本におけるスマートフォンの普及は極めて高く、10代の利用率はほぼ100%であり、インターネットの利用目的としては、「SNSの利用」が最も高い割合を占めている。

一方で、若年層におけるオンライン習慣は、学習への集中力の低下、脳の発達の障害、精神的安定の障害、さらには対人関係の発達への影響といった負の側面も指摘されており、近年では世界各国においてスマートフォン利用に対する規制やガイドラインの整備が進められている。

医療職は対面コミュニケーションを基盤とする専門職であり、とりわけ看護職においては、患者の感情を的確に理解し共感的に関わる能力が不可欠である。しかし、オンライン・コミュニケーションは対面に比して情報量や相互作用の深さに限界があり、共感の点で十分に機能しにくい。そのため、他者との深い心理的交流が求められる場面においては、対面によるコミュニケーションが重要となる。

看護学科のアドミッション・ポリシーとして、「人に関心があり、他者と尊重しあう価値観を備えている」「柔軟な発想で分析し、論理的思考に基づいて論述できる」を挙げている。これらを測るため、課題文の読解を通じて、医療人を志す者としてオンライン習慣に内在するリスクを適切に理解し、オンライン習慣が対人コミュニケーションに及ぼし得る影響について、自身を振り返り論述できることを問う設問とした。

【解答の傾向】

設問1

多くの解答は、本文の内容を正しく読み取り、オンライン習慣が持つ「リスク」を簡潔に記述できていた。

設問2

自身のスマートフォンやSNSの利用を省みており、「使用時間が多いので今後は1日の使用時間を決めて使用する等の改善が必要」、「認知機能の低下や将来の認知症リスクを防ぐためにも改善が必要」、「自分で考えず、すぐにスマートフォンで検索するため脳を十分に使わなくなっている」などの、一般的なスマートフォン使用に対する反省と改善について記述している内容が多くみられた。設問文にある「医療専門者となるあなたは」という部分を踏まえて、対象者との対面コミュニケーションへの影響について言及した記述は少なかった。また、解答の中には、原稿用紙の使い方に不備があるもの、誤字脱字、文章表現が不適切なものもみられ、減点の対象となったものもあった。

第2問

【出題の意図】

本問題は図表からポイントとなることを読み取り、問いに対して具体的かつ現実的な対策を論理的に記述する問題である。

出典は総務省および厚生労働省が公表している資料であり、高齢者人口の増加、高齢者の高齢化、平均寿命と健康寿命の状況が示されている。設問1および設問2では、図表から必要な情報を読み取り、客観的事実を簡潔にまとめる力をみることが目的である。複数のデータを関連付けて考察する分析力や、図表の意図を理解する力を測るとともに、社会的課題につながる視点を持てるかを確認する問いである。本学看護学科のアドミッションポリシーにある「看護や医療に関する専門知識や技術の修得に必要な意欲及び基礎学力を備えている」を測る問題である。設問3では、ふたつの図表から読み取った内容を踏まえ、現代の高齢社会について自ら考え、根拠を示しながら論述する力をみることが目的である。高齢化の進行と、平均寿命と健康寿命との差という問題について、論理的に筋道立てて意見を述べる思考力・判断力・表現力を総合的に評価する設問である。アドミッションポリシーの中にある「柔軟な発想で分析し、論理的思考に基づいて論述できる」「人に関心があり、他者と尊重しあう価値観を備えている」を測る問いである。

【解答の傾向】

設問1および設問2

図1と図2から必要な情報を読み取り、客観的事実を整理し簡潔にまとめることが求められる。図1では65歳以上人口が急速に増加していることに加え、65歳以上の年齢区分の状況についてもまとめる必要がある。ポイントをしっかり押さえている受験生は多く見受けられた。図2では平均寿命および健康寿命の経年変化の状況だけでなく、男女差の状況についてまで踏み込んでまとめる必要がある。特に作図者の意図からして、平均寿命と健康寿命の差についてまで記載する必要がある。情報量の多い図であったためか、ポイントを押さえている受験生は図1よりも少なかった。

設問3

図1および図2から読み取った内容を踏まえて、高齢社会の課題について、自らの考えを論述する問いである。単純な「平均寿命や健康寿命を延ばすための対策」ではなく、「平均寿命と健康寿命の差の期間を少しでも有意義に過ごすための対策」についての問いである。平均寿命と健康寿命の差という意味を具体的にイメージできるかがポイントとなる。ユニークな対策の記載も多くあったが、平均寿命と健康寿命の差の意味を具体的にイメージできず、単に「平均寿命や健康寿命を延ばすための対策」についての記載にとどまっている者が多く見受けられた。また、指定された文字数よりも明らかに少なかったり、原稿用紙の基本的な記載方法を理解できていない受験生もいた。